

普段はさわれない博物館標本を、じかにふれて感じて下さい。

Hands On

東京大学総合研究博物館マクロ先端研究発信グループ共同活動
「進化にふれるハンズオン・ギャラリー」
連携機関：名古屋大学博物館

テーマ：
「進化と学術標本」



- ギャラリー1／骨から探る動物の形の進化(解説員：黒木真理・藤原慎一・久保麦野)
ギャラリー2／ともに歩んできた植物と虫(解説員：矢後勝也・矢野興一)
ギャラリー3／考古標本から暮らしの変化を探る(解説員：鶴見英成・門脇誠二)

テーマに関する解説・標本体験コーナーを設けます。
解説員とともに、標本の間近な観察や体験をとおして、「進化」の研究にふれてください。



- 2011年7月18日(月・祝)
東京会場／東京大学総合研究博物館(本館1階)
東京都文京区本郷7-3-1
第1回 10:00／第2回 13:00／第3回 15:00

- 2011年12月17日(土)
名古屋会場／名古屋大学博物館(講義室)
名古屋市中種区不老町
第1回 13:00／第2回 15:00

※応募要項は裏面をご覧ください。

「進化にふれるハンズオン・ギャラリー」

2



テーマ
「進化と学術標本」

私たちが目にする世界は、長い時間をかけていまの姿になりました。「進化」は世界を理解する有効な考え方のひとつで、その手がかりは実はごく身近にあります。東京大学と名古屋大学の若手研究者が、2つの大学博物館の標本を集めて、進化を理解するための解説・体験ユニットを用意しました。博物館の標本にふれられるチャンスです。以下の3つのギャラリーをまわりながら、標本を間近で見て、手にとって、「進化」について考えてみましょう。

ギャラリー1：骨から探る動物の形の進化(解説員：黒木真理・藤原慎一・久保麦野)

標本：魚類、哺乳類の骨格標本・剥製・模型など

解説：脊椎動物の食性と歯・顎の形の関連性や姿勢と骨格の関係性など、その種の生態と密接な形態的特徴の観察。

ギャラリー2：ともに歩んできた植物と虫(解説員：矢後勝也・矢野興一)

標本：昆虫標本(ギフチョウ類)、植物標本(カンアオイ類)など

解説：東京・名古屋の両地域で分化を示す植物、それに依存する昆虫の進化、地理的変異、生活史、開発の影響など。

ギャラリー3：考古標本から暮らしの変化を探る(解説員：鶴見英成・門脇誠二)

標本：出展標本は西アジア出土石器、ペルー出土土器、およびそれらのレプリカなど

解説：石器や土器などを手に取り、ヒトの進化と生業の変化、国家の形成といった史的イベントを「道具の進化」から体感。



応募要項

- 東京会場(7月18日：第1回10:00～、第2回13:00～、第3回15:00～)

定員を設けませんが、先着順にご案内致します。電話もしくは郵便にて、

- ①参加希望回(10:00、13:00、15:00のいずれか)、②氏名、③年齢、④郵便番号・住所、⑤電話番号をお知らせください。

<東京会場の応募および問い合わせ先>

〒113-0033 文京区本郷7-3-1(東京大学本郷キャンパス内)

東京大学総合研究博物館「ハンズオン・ギャラリー」企画担当(鶴見英成・矢後勝也)

TEL:03 5841 2481(不在時:事務室tel:03 5841 2803)/ fax:03 5841 8451

<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/>

- 名古屋会場(12月17日：第1回13:00～、第2回15:00～)

定員各回30名(小学校以上、小学生は保護者同伴のこと)。

往復ハガキ(返信にも住所氏名を記入)に「進化にふれるハンズオン・ギャラリー」と明記し、

- ①参加希望回(13:00、15:00のいずれか)、②氏名(ふりがな)、③年齢、④郵便番号・住所、⑤電話番号。

締切12月2日(金)必着。定員数を超えた場合は抽選となります。

<名古屋会場の応募および問い合わせ先>

〒464-8601 名古屋市中種区不老町(名古屋大学東山キャンパス内)

名古屋大学博物館事務室 tel:052 789 5767

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/>

